

# わる気と感動

学校だより21号  
平成29年  
12月25日(月)

## = 82日間の二学期 多くの学びがあった! =

82日間の二学期で、南部中の生徒の多くは一步一步確実に成長できたと思います。輝城祭、新人戦、音楽発表会などの大きな行事で、集団としての強いまとまりと、発表などでの質の高さ、運動面での力強さを学校内外に示すことができました。行事の質や大会の成績は山梨県内のトップクラスのレベルだったと思います。また弁論大会、英語暗唱大会、教育祭図画・美術作品展、各種応募作品などで数々の賞も受賞しました。吹奏楽部の県アンサンブルコンテストの銅賞は銀賞まであと1点という惜しい結果でした。文化的活動や委員会活動でも確実に成果を挙げました。10月の南部町体育祭りでは、3年生がソーランの踊りと、応援のエールを披露し多くの方からお褒めの言葉をいただきました。

一方、日常生活を振り返ってみると、周囲を気にせず大声を出す、廊下を走るなどの迷惑行為が見られる、サイレントゾーンを意識した行動ができない、公共物を壊してしまう、不注意な行動や身勝手な行動から、けがをしてしまった人がいるなど、『自分のことしか見えない』『周囲に心を配れない』行動が目につきました。このような落ちつかない生活が、『安心・安全な学校づくり』に大きな課題を残す、という結果になってしまいました。また、いじめ0も達成できませんでした。

しかし先週の生徒総会、学年総会、学級会の中で、今の南部中の課題や現状に『気づき』今後やるべきことを『考える』ことができました。あとは『行動』するだけです。

『なんでも言い合える関係』『本音で語り合える関係』を作ることは簡単ではありませんが、お互いが相手を思いやること、周囲に気を配ることから始めましょう。

14日間と短い冬休みではありますが、健康・安全に留意して、学習や部活動、生活面で自分の課題にしっかり取り組んでください。

特に3年生は受験生として、甘い気持ちは捨て、今までこんなに頑張ったことがないと言えるくらい、学習に自分を追い込んでください。

1月9日の三学期の始業式で、皆さんの元気な姿に会えることを楽しみにしています。

(終業式 校長あいさつより)

## = 冬季休業をチャンスに =

26日から1月8日まで、14日間の冬季休業が始まります。休み中も部活動や学習会、面接練習などありますが、学習面や部活動の面での課題を克服する最大のチャンスです。

挑戦すべき事や課題は、学年・個人によって違うでしょう。三年生は受験・進学へ向け、断固たる決意で取り組んでください。一・二年生は学習面では苦手克服、部活動では基礎技術・基礎体力の強化などが重要です。自分自身のやるべき事、課題を明確にして、チャンスをものにしてください。山梨県選抜としてバレーボール全国大会に出場する、遠藤理子さん、市川佳依くん。全国トップレベルを肌で感じ、多くのことを吸収し後輩に伝えてください。

年末年始は、大掃除や家庭の行事など普段あまりできない家庭での役割を果たすこと、地域の行事へ参加することも大切です。家族・地域の一員であることも強く意識する期間にしてください。

～保護者の皆様、地域の皆様へ～

長かった二学期ですが、南部中学校の教育活動に、絶大なるご支援をいただきありがとうございました。今後も引き続きご指導ご協力をお願いします。良いお年をお迎えください。